

3年の復習	4	第1章 説明文	8	第4章 説明文・物語	72	第7章 筆者の意見をとらえよう	140
1 言語事項		13 言語事項		13 言語事項		26 言語事項	
主語・述語／国語辞典の使い方		文のしくみ／いろいろな言葉(1)		決まった言い方と表現の工夫(1)／ 動作や様子を表す言葉		決まった言い方と表現の工夫(1)／ 動作や様子を表す言葉	
2 指示語・接続語	12	14 話題・段落	76	15 事実と意見・具体例	80	27 自然・生物	144
3 話題	16	16 情景	84	16 情景	84	28 世界に目を向けよう	148
4 段落	20	17 場面の变化	88	17 場面の变化	88	29 人間の体について	152
まとめの問題1・2	24	まとめの問題1・2	92	まとめの問題1・2	92	まとめの問題1・2	156
第2章 物語	28	第5章 詩・短歌・俳句	96	第8章 場面や心情を読み取ろう	160		
5 言語事項		18 言語事項		30 言語事項			
修飾語／漢字辞典の使い方		言葉の使い分け／いろいろな言葉(2)		決まった言い方と表現の工夫(2)／ 気持ちを表す言葉			
6 あらすじ	32	19 詩を読む	100	31 人と人のつながり	164		
7 場面・登場人物	36	20 詩の表現	104	32 人と動物のかかわり	168		
8 気持ちと行動	40	21 短歌・俳句を読む	108	33 幻想的な世界	172		
まとめの問題1・2	44	まとめの問題1・2	112	まとめの問題1・2	176		
第3章 情報(1)	48	第6章 情報(2)	116	ジャンプアップ	180		
9 言語事項		22 言語事項		4年のまとめ(1)	184		
文の基本型／類義語・対義語		文章の型／同訓異字・同音異字		4年のまとめ(2)	188		
10 中心となる文を見つける	52	23 特徴をとらえる	120				
11 会話を読む	56	24 工夫して説明する	124	作文の書き方	192		
12 考えたことを書く	60	25 考えたことを説明する	128	原稿用紙の使い方	194		
まとめの問題1・2	64	まとめの問題1・2	132	横書きの文章を読む	203		
ジャンプアップ	68	ジャンプアップ	136				



言語事項の課

言語事項の課では、主語・述語・修飾語などの文のしくみや、漢字の成り立ち・四字熟語・慣用句などの言葉の学習をします。

その課で学習する項目がまとめてあります。はじめに確認しておきましょう。

文章問題の課

文章問題の課では、物語や説明文、詩・短歌・俳句、古典作品などのほか、グラフや図表などの資料を読んで解く問題の学習をします。

例題のはじめは、文章の全体を図式化した問題になっています。まずは、文章の流れをつかむようにしましょう。

■ 1 読文

主語・述語・国語辞典の使い方

① 主語・述語

主語とは文の「基本」、文を導くものはこれら正しくならなくてはならない。たとえば「ぼくは、本を買って帰ってきた」しかなかった。この文の主語は「ぼく」は、述語は「買った」です。このことから「ぼく」が「うれしかった」ことがわかります。

② 主語・述語の見つけ方

まず、述語を見つけて、ふつうは文の最後にあります。問「母が歌を作る。兄が早く起きた。弟が早く寝た。」見つけた述語に「何（なに）が？」をつけて考えます。問「弟が早く寝た。」→「弟（おとうと）が？」→「弟が（主語）」

ポイント

① 主語・述語の見つけ方

まず、述語を見つけて、ふつうは文の最後にあります。問「母が歌を作る。兄が早く起きた。弟が早く寝た。」見つけた述語に「何（なに）が？」をつけて考えます。問「弟が早く寝た。」→「弟（おとうと）が？」→「弟が（主語）」

例題① 次の文を読んで、おとの問いに答えましょう。

① 主語・述語の見つけ方

まず、述語を見つけて、ふつうは文の最後にあります。問「母が歌を作る。兄が早く起きた。弟が早く寝た。」見つけた述語に「何（なに）が？」をつけて考えます。問「弟が早く寝た。」→「弟（おとうと）が？」→「弟が（主語）」

② 主語・述語の見つけ方

まず、述語を見つけて、ふつうは文の最後にあります。問「母が歌を作る。兄が早く起きた。弟が早く寝た。」見つけた述語に「何（なに）が？」をつけて考えます。問「弟が早く寝た。」→「弟（おとうと）が？」→「弟が（主語）」

③ 主語・述語の見つけ方

まず、述語を見つけて、ふつうは文の最後にあります。問「母が歌を作る。兄が早く起きた。弟が早く寝た。」見つけた述語に「何（なに）が？」をつけて考えます。問「弟が早く寝た。」→「弟（おとうと）が？」→「弟が（主語）」

第1章 読明文

3 話題

例題 次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

① 文章の内容をまとめた次の図の□にあてはまる言葉を、言葉と意味を区別して整理書き取りしよう。

文章からそれぞれ4字ずつ書きなさいよう。

読解：野の「a」について

園・ササ……ササぶね・ササぶね・シロメクサ……首がざり・かんざり「D」……すもも」

「子ども」……遊びを通して「こやがな心と体を買った。

② ①のaは、何を指していますか。文中から③は4字、④は2字で書きなさいよう。

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

③ ササぶねは、ササの葉のどんな様子をいっしょに利用した遊びですか。文章から3つ書きなさいよう。

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊿

④ シロメクサの葉を遊びで使ったものは何ですか。次の中からあてはまらないものを一つ選り、説明を書きなさいよう。

A あまのい花のおい。イ 首がざりを作る葉しき。

ウ ミツバチのはち。エ さやから季節のかわり。

⑤ ①「ふり」のある遊びとは、何のことですか。文中から

用語の説明や、その使用例がまとめてあります。しっかりと読んで、問題に取り組んでみましょう。

ポイント

- [illegible]

章のまとめ

まとめの問題

各章の最後にはまとめの問題があります。その章で学習した内容のふりかえりと、総合的な問題演習で仕上げをしましょう。

ジャンプアップ

第3章・第6章・第8章には「ジャンプアップ」があります。長めの文章を読んだり、より思考力を必要とする問題に挑戦して、ステツプアップを目指しましょう。

例題

基本的な内容や読みやすい文章で出題されているので、基礎を固めることができます。

練習問題

「例題」よりもむずかしい問題が出題されているので、課の学習内容をより深く理解できます。

確認テスト

1つの課に1枚の確認テスト（別冊）がついています。本冊で学習した内容につながる問題は「重点問題」として☆印がついています。その課で身につけるべき基本事項を確認する問題ですので、全問正解を目指しましょう。

ポイント

- ① 説明文とは、いろいろな事実や事柄を、わかりやすく、すばやく述べて説明した文のことです。最初、題名(文章で)を述べて使われる(「キリマンジャロ」)、「『ついでに』」の説明文のなかで、「記述」を正しくとらえられるようにしよう。そのなかで、その時間について筆者がどのような考えをもっているかを考えよう。
- ② それぞれ、その文章は、指示語によって、何を述べているかに使われるもの。文章によって、何を述べているかに指示の内容を正しくとらえるようにしよう。
- ③ この文章の内容と合っているものの中から一選び、記事
- ④ 文章読解を通して子どもたちは、親の持てる学び、イキ直した輪にふりかへて通うことによって、子どもは自然と仕組まれた輪の中にあがっていき、
- ウ 花の美しい姿が失われてしまい、現代の子どもたちは草花を愛する心が遠くへ失われてきた。
- 花を愛する心を遠くへ失われてきた。
- 工 草花を愛する心を通して、子どもたちは花を大切にすることを覚悟して育っていくことができる。

「○」のマークがある問題は、「思考力問題」を表しています。文章の中に書いてあることだけでなく、文章全体の内容から推論したり、これまでの体験をふまえて考えたりする問題です。

10 中心となる文を見つける

わらい
・文章の全体と中心をとらえましょう。
・中心となる文を見つけましょう。

●全体と中心をとらえる

(1) 文章全体で何について書かれているかをとらえる。

文章の中でくり返し出てくる言葉に注目して、文章全体の内容

(「話題」をつかみましよう。

(2) 段落やまとまりごとの要点をとらえる。

(3) 中心となる文を見つける。

段落やまとまりごとに、その中心となる大事な事柄が書かれた文があります。中心となる文には、筆者が最も伝えたいことや、細かい例や説明をまとめる内容がのべられています。中心となる文を見つけることで、段落やまとまりの要点をとらえることができます。

●中心となる文の特徴

(1) 文章のキーワード(中心になる語句)をふくんでいる。

(2) まとめる表現(例)つまり、このように、など

よびかける表現(例)としてください。ししましょう。など

「まとめる表現」や「よびかける表現」が使われていない場合

もあります。文章をよく読んで中心となる文をさがしましょう。

例 東小学校には、サッカーや野球などのスポーツのクラブがあり

ります。また、工作や手芸など、物を作るクラブもあります。

このように、東小学校にはいろいろなクラブがあります。

※「クラブ」という言葉がくり返し出てくることから、話題は「ク

ラブ」のことだとわかります。アとイでクラブの例を挙げて、

ウでまとめているので、ウが中心となる文です。

練習問題 A

1 次の新聞記事を読んで、あとの問いに答えましょう。

犬よりねこが人気

ア 全国の家庭でかわれている犬とねこの数を調査した結果が発
表されました。それによると、かわれている数は、二年連続でねこ
が犬より多いことがわかりました。エ 昨年初めてねこが犬を上回り、
今年はさらに差が広がりました。調査の関係者はその理由について、
「犬は散歩などの手間がかかるため、かう人がへっているのではな
いか」と話しています。

□(1) 何について調査したことが書かれていますか。本文中から書き
ぬきましょう。

□(2) この記事の中心となる文はア～エのどれでしょうか。記号で答
えましょう。

□(3) 昨年、かわれている数が多かったのは、犬とねこのどちらですか。

2 次の案内文を読んで、あとの問いに答えましょう。

中央図書館は、工事のため、十月三日～十六日までの二週間、お休みになります。返す本がある人は注意してください。

休館中は、中央図書館で本を返すことはできません。ふだんの休館日には「返却ボックス」に入れることができますが、工事中は「返却ボックス」も利用できません。ですから、かりている本は、できるだけ二日までに返してください。

ただし、市内のほかの図書館に返却することはできます。十七日からはいつもどおり、貸し出し・返却ができます。

□(1) この案内文の中心はどんなことですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア 中央図書館の工事について。
- イ 返却ボックスの使い方について。
- ウ 中央図書館の利用のきまりについて。
- エ 休館の連絡と本の返却について。

□(2) 返却期限が五日の本がある場合、どうすればよいでしょうか。ふさわしいものを次の中から二つ選び、記号で答えましょう。

- ア 二日に中央図書館に返す。
- イ 五日に中央図書館に返す。
- ウ 五日に中央図書館の返却ボックスに入れる。
- エ 五日に市内のほかの図書館に返す。
- オ 十七日に中央図書館に返す。

3 次の校内放送の原稿を読んで、あとの問いに答えましょう。

新聞委員会からのお知らせです。新聞委員会では、先週行われた運動会の様子をまとめて、運動会新聞を作りました。新聞は、今日から二十五日まで一カ月の間、図書室の前のろうかにはり出しています。

新聞では、各学年の競技の様子を、写真つきでくわしくしようかしています。また、赤組の六年生代表の優勝インタビューものせました。六年生代表は、当日の応援合戦の感想など興味深い話をたくさんしてくれています。ぜひ見にきてください。

□(1) 何についての放送ですか。次の□□にあてはまる言葉を文章から五字で書きぬきましょう。

・新聞委員会が

を作ったこと。

□(2) 運動会新聞は、どこで見ることができますか。原稿の中から書きぬきましょう。

□(3) 優勝したのは、赤組と白組のどちらですか。

□(4) 新聞にのっている内容として合うものには○を、合わないものには×を書きましょう。

- 〔 〕 ア 新聞がはり出されている期間。
- 〔 〕 イ 各学年の競技のくわしい様子。
- 〔 〕 ウ インタビューをしたときの写真。
- 〔 〕 エ 赤組の六年生代表へのインタビュー。

練習問題

B

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

わたしはゆでたまごが好きです。しかし、からをむくときに、きれいにむけなくて、がっかりすることがあります。

そこで、ゆでたまごのからをきれいにむく方法を調べて、実験しました。

方法①

ゆでる前にたまごを室温にもどしておくという方法です。冷蔵庫から出して冷たいままゆでると、からとたまごがくつきやすいそうです。そこで、冷蔵庫から出して三十分ほどおいてからゆでてみました。

結果は、きれいにむけました。

この方法のよいところは、むずかしいコツなどはいらず、かんたんにできることです。しかし、三十分前からじゅんびが必要なので、すぐに作りたいときには合いません。

方法②

たまごのからにあなをあけておくという方法です。たまごのおしりのほう（丸みのあるほう）に、がびょうをさして小さなあなをあけました。はじめは力を入れすぎて、たまごがわれてしまいました。が、二つめはうまくできました。

この方法も、からがきれいにむけました。

この方法には、時間がかからないというよさがあります。しかし、なれないと力が入れ方がむずかしいと思いました。

このように、どちらの方法にも、よさと欠点がありました。ほかにも方法があるようなので、またためしてみたいです。

□(1) この文章は何について実験したことを書いていますか。

□(2) なぜこのような実験をしようと思ったのですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア いろいろなゆで方があると知ったから。

イ ゆで方によって味が変わるかもしれないから。

ウ からがきれいにむけないとがっかりするから。

エ からを速くむけるようになりたいから。

□(3) 実験したのはどんな方法ですか。二つの方法とそのよい点をまとめた次の文の（ ）・□にあてはまる言葉を、書きぬきましょう。

方法①…たまごを

よい点…

ところ。

方法②…たまごの

よい点…

ところ。

□(4) 方法①と②のうち、ゆでたまごを急いで作りたいときは、どちらの方法がよいですか。

方法

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

保健室ほけんからのお知らせ

寒くなり、空気がかわいてきて、インフルエンザが流行する季節になりました。インフルエンザへの対策として、「かからない」「うつさない」の二つを心がけましょう。

インフルエンザの特徴

ふつうのかぜは、せきや鼻水などの部分的なしうじようが、少しずつ悪化します。それに対してインフルエンザは、急に、全身にしようじようが出るのが特徴です。例えば、とつぜん38度以上の高熱が出たら、インフルエンザかもしれません。ほかに、頭や関節がいたくなったり、食欲がなくなったりします。

インフルエンザにかからないために
インフルエンザウイルスは、かわいた空気を好みます。室内のうるおいをたもつようにしましょう。

人がたくさんいる場所に行くときは、マスクをするとよいでしょう。また、家に帰ったら、必ず手あらいうがいをしつかりとしましょう。

インフルエンザにかかったら
インフルエンザかな? と思ったら、はやめに病院でみてもらいましょう。はやく治すことが、自分の体を守るためだけでなく、まわりにうつさないためにも大切です。

また、熱が下がって元気になったと思っても、ウイルスは体の中に残っています。しばらくは外に出ないようにしましょう。そして、せきやくしゃみが出るときはマスクをしましょう。

- (1) この「保健室からのお知らせ」は、何について書かれていますか。
七字で書きぬきましょう。

--	--	--	--	--	--	--

- (2) インフルエンザにかからないためにするとよいことを、次の中からすべて選び、記号で答えましょう。

ア はやめに病院でみてもらう。
イ 室内のうるおいをたもつ。
ウ 空気をかんそうさせる。
エ マスクをする。
オ 手あらいうがいをする。

- (3) 「インフルエンザの特徴」のこうもくで、中心となる文はア〜エのどれですか。記号で答えましょう。

- (4) インフルエンザの説明として正しいものには○を、まちがっているものには×を書きましょう。

「ア インフルエンザは、空気中のウイルスが原因でかかる。」
「イ インフルエンザは、せきや鼻水からはじまる。」
「ウ インフルエンザにかかると、必ず頭や関節がいたくなる。」
「エ インフルエンザにかかると、急に高熱が出ることがある。」

- (5) この「保健室からのお知らせ」が伝えたいことの中心はどんなことですか。一文を書きぬきましょう。